

WB.

2016-02 No.69



中村さん 他の学部が何をしているか分からないもんですね。

高田さん 1年の時にもっといろんな人と仲良くしておけば良かったと思います(笑)。

【ユニークな先輩・後輩たち】

高田さん 面白い活動をしている先輩とかはいますか？

中村さん 漆の櫛を作りたいと言って、確か長野県の方まで漆職人さんを訪ねた同級生がいます。やりたい!ってなったら外に聞きに行く。職人さんは、来たことを喜んで、ただでつくらせてくれたみたいです。それから、芸術ではドイツの協定校に行っている人も多くですね。

中野さん 情報科学部には、ゲームが好きすぎて「作りたい!」って突き詰めていって、独学でiPhone用のゲームを開発した先輩がいます。あと、全国の大学から集まってプログラミングとかを学ぶ合宿に参加した後輩もいます。

高田さん 国際学部では留学する人は多いのですが、現在、アフリカのルワンダに留学している友人がいます。以前からアフリカ大陸にすごく興味を持っていて、文科省の「トビタテ! 留学JAPAN」に応募し、念願かなって。あとは、最近、日中、日韓などの学生会議があって、全国の大学生が集まっているんなテーマでディスカッションするんですけど、首都圏の大学生が多い中で市大から飛び込んでいった先輩がいます。その先輩は、6年間大学に在学していて、フランスに留学に行ったり、学生会議に参加したり、やりたいことは全部やりたい!というパワフルな人。

【賢く大学生活を送るコツ】

高田さん 空いた時間をいかに有効に使うか。いかにやりたいことを見つけて、それに向かって頑張っていけるか。遊ぶのは誰だっかって楽しいけど、それ以外をいかに充実させ楽しめるかが大切。

中野さん 努力次第で良くも悪くもなるのが大学生。あと、人とのつながりを大切に。同級生、先輩、後輩、先生、他学部の人、他大学の人など、縦横のつながり次第で楽しみ方も変わってくるのかも。

中村さん やりたいことを見つけて、そこに時間を使う。大学生のうちにはできないことを!

(※)この記事は、「広島市立大学 大学案内2017」に掲載した学生座談会を、大学案内では紹介しきれなかったことも含めて、広報誌用に編集したものです。



大学祭フィナーレでの集合写真(2列目右端が中野さん)

何をつくるかによるんですけど、やれば終わるんで。講義を聞くとか、人に合わせることはないんで、自分のペースで進めておけば大丈夫。

高田さん 自分もアルバイトをしているんですけど、国際学部は、自分が力を入れたいところをしっかりと決めて、自分なりに緩急のバランスをとれば、いろいろな活動との両立も十分可能かな。1年生の時は分からないですけど。

中村さん 何を重視するかですよ。自分が何をしたいか。

高田さん 学生時代しっかりお金を貯めておきたいってアルバイトを重視している人もいれば、自分のやりたいことをしっかり勉強したいからアルバイトはしないという人もいます。自分の目的とマネジメント次第ですよ。大学生はホント自由だから、自分次第でどうにでもできる気がする。他大学の学生さんたちともかかわってみて思うんですよ、「どこの大学に入るか」はあまり問題ではなくて、大学のネームブランドよりも「入ってから何をするか」の方が大事なんじゃないかって。自由な時間が多いからこそ、時間の使い方によって、どんな大学生活を送れるかも変わってくる。

中村さん 自分がやらないと何もできないし、やる気があれば何でもできる!

中野さん 情報科学部は、授業のある期間中は自由が少なくて、他大学の理系学部に進んだ友人も同じことを言います。「自由はどこへ?」みたいな(笑)。夏休みなど長期休暇は余裕がありますね。

高田さん なんか学部で全然違いますね(笑)



在日米国総領事館でのインターンシップ報告をする高田さん



わりがありました。企業の人に協力をお願いすることもあるって、そういった形で得られた外部とのコネクションはその場限りではなく、大切にすればのちのち自分を助けてくれることもあります。就活の時、お世話になった企業の方にアドバイスをもらったという先輩もいました。

中村さん サークル(課外活動)で大学の外に出るというイメージがなかったからびっくりしました。スポーツなど、共通のものを好きな人たちが集まって学内で活動しているのかと。

高田さん 僕はバスケット部にも入っているんですけど、入らなかつたらかわらなかつたような他学部の友人もできたり、サークルには入った方が良いんじゃないかなと思います。

中野さん 他学部とのつながりは普段の生活にはあまりないので、私も実行委員会に入ったから話すことができたし、良かったと思います。他学部が普段何をしているのかわからないし、自分のイメージや先入観しかないから、接点ができると新しい発見があって。例えば、彫刻を専攻する友達がいる、「100枚ドローイング」をしているって聞いて。彫刻ってという絵を描くイメージがなかったんで、新しい発見で刺激になりました。

【勉強との両立】

高田さん 違う見方ができるようになるよね。何かアルバイトはしていますか？

中野さん 情報科学部は、定期的に時間が取りづらいので、自分が入りたい時に入れてもらえるようなアルバイトを選んでしています。

高田さん これも僕のイメージですが、情報科学部って、テストや勉強が大変そうだけど、加えて実行委員会で活動していた時は、勉強との両立はやはり大変でしたか？

中野さん 確かに大変ではありました。忙しい時は空き時間の利用方法が大切ですね。友達とおしゃべりしたい…でもレポートや課題も…って悩ましいけど、友達と一緒にでもいから少しずつ進めておくんです。家に帰ったら、疲れているけど、ここでも少しだけ進めておく。ためこんでしまうと「やりたくない!」という負の連鎖に陥ってしまうので…。少しずつでも進めていくことが大事。

高田さん いかに有効に時間を使って勉強するか。両立するにはその意識が大切なのかな。

中村さん 芸術学部の場合は、簡単に言うと、つくりさえすればいいので、バイトも自由。例えば、水曜はちょっとだけ実習してバイト、木曜は一日中実習とか、みんな自由に計画を立てています。



「公共政策・NPO」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」「国際ビジネス」があって、その中で好きな科目を履修して、最終的にはゼミに入って突き詰めていくみたいな感じ。それに、先生も先輩も、いろんな人がいるから、いろんな話が聞けて面白いですね。

中野さん 情報の場合、情報科学部っていう学部自体が珍しいと思います。普通は工学部の中に入っているんで。医用と工学が融合した医用情報科学科も特徴がありますね。あと、1人当たりのパソコンの台数は充実していると思います。パソコン持ってなくても学校にあれば大丈夫みたいな(笑)。

中村さん 私はもともと公立で芸術があるところって選んだんですけど、施設が充実していると思います。3Dプリンターもありまし。情報科学部でも購入している研究室があると聞きました。

【学内外でのつながり】

中野さん 私は2年生の終わりまで大学祭実行委員会に入っていました。大学祭の1カ月ぐらい前からめちゃくちゃ忙しくて。OB・OGの方に力を借りつつ、なんとかやり遂げました。

高田さん でもそれだけ充実していたんじゃないですか？

中野さん 大変だった分、フィナーレの達成感と感動はすごかったですね。それと、模擬店やフリーマーケットなど、学内外の出店の方と連携できたことは良い経験になりました。あと営業も。運営費を確保するために近隣の企業さんに協賛をお願いするんですけど、自分で電話して、承諾を得て、お金を頂くという一連のことを全て、1年生の時から任せられます。

中村さん イベントをつくるんですもんね。やりがいはありますよね。

高田さん 良い経験ですね。社会人になっても通用しそう。学外とのつながりって、いろいろな活動を通じて意外とありますよね。僕は、「AIESEC」という海外インターンシップ事業を運営する学生団体で、2年生の途中まで活動していて、他大学とかの漆工房に外部の職人さんを招いて実演講義(中村さん撮影)



【それぞれの「学び」】

高田さん 国際学部は、たくさん授業があるという角度から学べるし、「HIROSHIMA and PEACE」、ドミニカのカーブアカデミーでの企業インターンシップ、フランスとかドイツとかの協定校への交換留学など、独自のプログラムも多いから、そういう機会を見つけて飛び込めば、いろいろな学びが得られます。芸術学部の授業はどんな感じですか？

中村さん 芸術学部は、実習が多いですね。1年生の時はみんなで一緒に授業を受けることが多いです。課題が2週間に1回ぐらい出て、いろいろとつくっていました。2年生から自分で専攻を選んで、勉強というより自分の好きなものをつくって、先生からアドバイスをもらうという感じ。だから私は楽しんでいます。

中野さん 実習って大変じゃないですか？午後全部ですよ？

中村さん 火曜から金曜まで全部ですね。でも、自由度が高くて、ずっと講義を聞かなくちゃいけないとか、いなぎやいなぎってこともないんで。自分のやることをやったら、あとは自由って感じ。情報科学部は何をしているんですか？

中野さん 情報科学部は、1年生の時は数学や物理やプログラミングなどの基礎をひたすら勉強します。実験が多くて、2年生までは基礎実験、3年生になると専門的な実験になります。今は、ロボットをプログラミングして歩かせたりしています。だんだん専門的になってくると、大変な中にも、できた時の達成感が大きくなります。

【高校時代との違い】

中村さん 大学は、入った途端に自由。高校生の時に比べたら空いている時間があるから、なんでこんなに授業無いんだろう?という感覚がありました(笑)。空き時間が多くて最初は何をすればいいのかわからなくて。

高田さん そこはたしかに高校生のときと大きな違いかもしれませんね。大学生になって時間の使い方を意識するようになりませんでしたか? 1年生の時は空き時間の使い方がわからなかったけど、バイトにしても、学生時代にしかできない意味を見出すとか。それまでは漠然とやっていたことにも、自分なりに意味を見出して考えて行動するようになりました。

中村さん そうそう。1年生の時はよく分からないまま授業に参加して、とりえず単位をとらなきゃって。でも、だんだんやりたいことが見えてきます。

中野さん 自分がどう積極的に動くかが大事ですよ。

【広島市立大学の特長】

高田さん 国際学部では5つのプログラム(「国際政治・平和」



CAMPUS LIFE

学生座談会 Student Discussion

「賢く」
大学生活を
送るには?

大学生活はとにかく「自由」! だからこそ、時間とつながりを大切に。

市大生はどのようなキャンパスライフを送っているのでしょうか。国際・情報・芸術と、ユニークな3学部構成の広島市立大学。3学部それぞれに、学びのカラーも三人三色。そこで、3学部の学生が集まってもらい、学生座談会を開催しました。(※)



国際学部 国際学科4年 高田 陽一朗さん (広島県立広島観音高等学校出身)

情報科学部 知能工学科3年 中野 美登里さん (広島県立安古市高等学校出身)

芸術学部 デザイン工芸学科3年 中村 美緒さん (広島市立基町高等学校出身)

2015年度 芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻 修士
吉田 葉瑠日
「JIZAI -アルマジロ-」(金属造形)
(H90×W300×D100 mm)
2015年度 修士制作優秀作品

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

丁寧に
一人ひとりを大事に
社会との関わりの中で
学生を育てます

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL:082-830-1500(代) FAX:082-830-1656
http://www.hiroshima-cu.ac.jp

活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外の多様な分野で活躍する「市大人」を紹介します。

自分が納得できれば、無駄なことは何一つない

株式会社ソルコム ^{まつやま はやと} 松山 隼人さん (情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2014年度修了)

松山さんは、情報科学研究科を修了後、地元広島企業である株式会社ソルコム(以下「ソルコム」)に勤務しています。2015年1月には、ソルコムが参加した「多言語音声翻訳システムの利活用実証」(※1)にかかりました。なお、本学は、COC+ (※2)に採択され、観光振興に向けた取り組みや地元企業への就職率アップなどに力を入れています。そこで、松山さん取材し、大学時代と現在の仕事について伺いました。

一大学時代について教えてください。まず、情報科学部の卒業生として、振り返ってみて良かったことはありますか？情報科学部では、2年生の後期に学科が決まります(※3)。入学してから実際にいろんなことを学んだ上で学科を選択することができるのですが、この制度によって、いろんな人たちのつながりができました。学科が最初から決まっていると、おそらく同じ学科の人たちとばかり会う機会が多くなってしまおうと思うので、自分には良かったです。

一大学時代の課外活動について教えてください。

バドミントン部に所属していました。部長をしていたのですが、人をまとめる難しさを実感しました。「楽しさ」にはいろいろあります。例えば、強くなって大会で勝ち進むことを楽しむには厳しい練習が必要です。しかし、みんなが同じ考えではありません。僕は中学・高校とバドミントンを通じてきたので、もっと強くなりたいと思っていたのですが、大学生になってからバドミントンを始めるメンバーの中には、みんなと仲良く楽しむこと自体が目的で入部した人もいます。厳しい練習はしたくないという声もありました。そこで、体力的にはきつくないけれど上手くなるための技術的なメニューを取り入れたグループと、厳しいトレーニングを中心とした強くなるためのメニューに取り組むグループの2つに分けました。また、一人一人と話をしながら、気持ちを聴いたり、メニューの意味について説明したりしました。自分のことだけやればいいという考え方もあるかもしれませんが、1人じゃ練習できませんし(笑)。それから、クラブ活動を通じて、他学部とのかわりも広がりました。



iPadを使用して説明する松山さん(前右)

一大学での学びが今の仕事につながっていると感じるのとはどのような時ですか？
大学時代に学んだプログラミングが、「業務改善」に役立っています。プログラミングというのは、実は、人それぞれの個性が出ます。ある指示を出すのに、いろんな過程でそのプログラムをつくることができます。例えば、2という答えを出すのに、1+1でも1×2でも答えは同じですよね。さまざまな方法の中から、自分でより効率的なプログラミングを考えるという経験を積みました。例えば、今の仕事で、工期などの時間管理を自動化するソフトをプログラミングで組んで自作しました。同僚にも使ってもらっています。また、バドミントン部で部長をしていた経験で、人それぞれに合うかということを学びました。今ではお客様や同僚が何を求めているのかを考えることに役立っていると思います。あと、上司から「先輩の面倒見が良い」と言われることもあります。

一今回の利活用実証について教えてください。
観光で広島を訪れた外国人の方とのコミュニケーションツールとして、翻訳ができるタブレットなどの端末を使って、簡単なやりとりをするというものです。実際に外国人観光客に声をかけ利用してもらい、使い勝手などについて聞き取り調査をし、改善点について報告することになります。

一ソルコムに入社した要因はなんですか？

いろいろあるのですが、広島が好きなので、広島に根付いた企業であるところですか。地域の活性化にも貢献したいと思っています。一最後に、後輩たちへのメッセージをお願いします。
大学生活はあっという間です。目標があれば、空いた時間を活用するなど時間の管理をして、後悔しないように過ごしてください。友達と遊ぶのも楽しい時間なので、自分が納得して時間を過ごしているのが大切だと思います。つながりをつくって、楽しい大学生活を送ってください。

- (※1)外国人観光客との会話によるコミュニケーションが多言語音声翻訳システムの翻訳品質と操作性の向上を目的とした、総務省公募事業「多言語音声翻訳システムの利活用実証」が全国5カ所で選定され、広島では、ソルコム、株式会社NTTドコモ中国支社等企画メンバーとした「広島おもてなし推進コンソーシアム」が選定された。ソルコムはその事務局も担っている。
- (※2)広島市立大学は2015年度、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の採択を受け、県内の大学や自治体、企業等と連携し「観光振興による強固な国際文化交流圏」創生に向けた人材育成事業」に取り組んでいます。本事業では、観光関連テーマーズの構築と活用、アートプロジェクト等の教育研究事業を通じて、地域に根付き貢献する人材の育成を推進します。
- (※3)現在は2年生進級時に学科が決まります。



松山隼人(まつやま・はやと) 広島市立大学情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2014年度修了。株式会社ソルコム IT事業本部 エンジニアリング部 アクセス部門 勤務。

株式会社ソルコムウェブサイト <http://www.solcom.co.jp/>

市大を志望するみなさんへ ～在学生からのメッセージ～

自分の未来のために

広島市立大学の国際学部は、ビジネス、NPO、言語、平和など幅広い学びの環境が整っています。さまざまな分野の考え方に触れる機会が多い分、すさまじい勢いで自分の世界が広がります。これは私たちの大学の強みです。またヒロシマが特別な歴史的背景のある場所であることから、私たちは世界に発信する機会に恵まれています。これは国際学部にとってとても大切なことだと思います。私がボランティアでガイドをしている広島平和記念公園には、実際に年間140万人以上の人々が訪れます。ヒロシマは、人々の関心が集まる土地なので、自分次第でどれだけでも可能性は広がり、大学にいながらも限界を感じません。大学へ入るためには入試を突破しなければなりません、夢を叶えるためには目標を設定し、明確な計画を立てることが必要だと思います。そして毎日確実にノルマを達成していくことで夢は叶います。千里の道も一歩からであることを忘れず、せつかく決めた自分の未来のために、時間を全力で使ってください。

現実になるように

ひと口に「情報」といっても、その利用先はさまざまです。パソコン、携帯、テレビ…。これらは全て「情報」なしでは成立しません。「情報」は私たちの日々の生活の基盤となっており、日々進化しています。そんな「情報」に特化した内容を学ぶことができる大学は数少なく、その一つがここ、広島市立大学情報科学部です。広島市立大学情報科学部ができる内容は理系分野だけではなく、全学共通系科目として、心理学や芸術といった文系分野も自ら選択して学ぶことができます。広島市立大学は「学び」だけでなく、課外活動も盛んです。私は演劇部に所属し、昼間は「情報」の勉強に、放課後は演劇部の活動にいそんでいます。受験勉強では誰もが大きな壁にぶつかると思っています。そして、苦しい時が何度も訪れます。実際に私もそうでした。こんな時は大学に合格したときの自分の姿を想像してください。将来こう感じたいという思いが努力につながります。その姿が現実になるように、以下の文を忘れずに頑張ってください。応援しています。Don't put off until tomorrow what you can do today.

周りには多くのヒントが

皆さんは何かをすときライバルを見つけていますか？ライバルを見つけ、その人と競い合えば大変モチベーションが上がります。それは、受験も同じです。ライバルと切磋琢磨し、自分がライバルに負けているところや、勝っているところを探してみてください。そして、ライバルに勝つための強みを持つためにはインプットが大切です。私は画塾の先生に、「身の周りには多くのヒントがある。だから常にアンテナをはれ。」とよく言われていました。常に周りの環境から刺激を受けるようにすれば、柔軟な絵が描けるようになるはずですよ。また、スケジュールも大切です。受験は限られた時間の中で絵を描かなければなりません。客観的なもう一人の自分を持って挑んでください。このような受験での経験は大学に入ってから生かせる能力ですのでぜひ意識してみてください。私自身もこれからもこのことを心掛けて大学生活を過ごしていこうと思います。

国際学部国際学科1年 森 彩花



国際学部国際学科3年 田中 真由子

私は、春休みの一か月半の間、アイルランドの首都ダブリンで語学研修をしました。語学学校の授業は、午前と午後の二部制で、午前中には主に文法やリーディングを、午後には主にスピーキングの練習を行いました。私のいたクラスには、話すテンポの速いヨーロッパ系の生徒が多く、はじめのうちは話し始める間を見つけることにとても苦労しましたが、最後には、間違いを恐れず、積極的に話すことができるようになったと思います。日本にいても英語学習はできますが、このように会話の間の取り方など、実際に日本人以外と会話をしなければ分からないことがたくさんあるのだと実感しました。

アイルランドは雨が多いイメージでしたが、私の滞在期間中は、比較的天気に恵まれていたようで、週末を利用して、学校で出会った新しい友人と、ゴールウェイやベルファスト、フランスのバリなどたくさんさんの場所を訪れました。授業とは異なり、あらかじめ用意されたトピックで会話をするわけではないので、よりお互いのことを知ることができ、非常に有意義な時間だったと思います。アイルランドの人々は、とても明るく、いつもジョークで笑わせてくれました。話すことが好きな人が多いので、アイルランドは英語学習に最適な場所です。これから語学研修に行くごうと思っている人にもぜひお勧めしたいと思います。



ゴールウェイ近くの観光地「モハーの断崖」で

国際学部国際学科4年 沖本 優架

私は夏季休業中の4週間、カナダのトロントでホームステイをし、語学学校へ通いました。

学校ではレベル別に分かれ、母国語が利用できない教室でgrammar, writing, speakingを学びました。クラスにはさまざまな国の人がありました。基本的な英語の授業はもちろん、授業の中で皆の母国のことを英語で説明し合い、当て合うことでgrammar, speakingを先生が鍛えてくださいました。日本人は文法が得意で会話が苦手な人が多いのですが、他国の人たちはその逆でした。私は驚き、同時に焦りを感じました。そこでステイ先の家族と積極的に話す努力をしました。また飲食店などに行くことでネイティブの人と話す機会も自然と増えました。そして帰る頃にはスムーズに現地の人と話せるまでになりました。日本では機会を自ら作らないと難しいspeakingですが、普段の生活で英語に触れることのできる環境に感動しました。もちろん語学を学んだだけではなく、ボートパーティーに参加したり、ナイアガラの滝やニューヨークに行ったりしました。こうした経験を通じて世界の大きさを感じることができ、もっと海外に赴いてさまざまなことを肌で感じたい、さらに英語を話す機会を増やしたいと思うきっかけにもなりました。このような貴重な機会を留学補助により体験できたことに感謝しています。皆さんもうまく学校の制度を使って、海外に積極的に行ってほしいです。

留学体験記

本学では、2年生以上の学生を対象に、海外の大学または研修機関での語学研修に対して、旅費や研修費用等を補助する海外語学研修補助事業を実施しています。毎年、学内公募で選考された学生が、夏季休業期間中または学年末休業期間中の1か月程度、この制度を利用してさまざまな国へ留学しています。

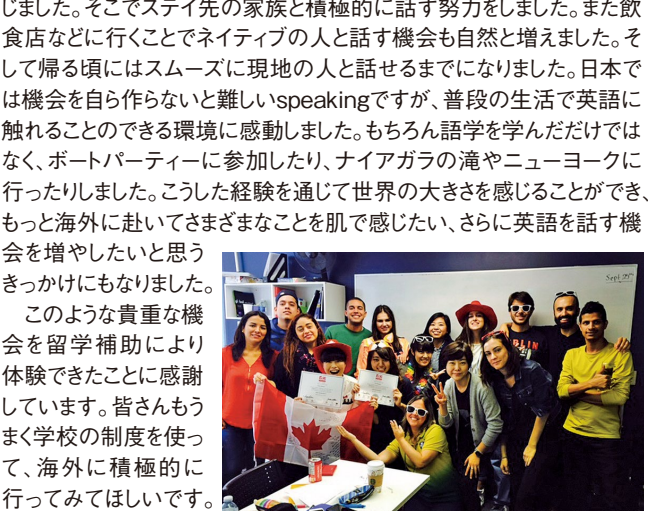
留学してみて分かったこと

国際学部国際学科3年 田中 真由子
私は、春休みの一か月半の間、アイルランドの首都ダブリンで語学研修をしました。語学学校の授業は、午前と午後の二部制で、午前中には主に文法やリーディングを、午後には主にスピーキングの練習を行いました。私のいたクラスには、話すテンポの速いヨーロッパ系の生徒が多く、はじめのうちは話し始める間を見つけることにとても苦労しましたが、最後には、間違いを恐れず、積極的に話すことができるようになったと思います。日本にいても英語学習はできますが、このように会話の間の取り方など、実際に日本人以外と会話をしなければ分からないことがたくさんあるのだと実感しました。アイルランドは雨が多いイメージでしたが、私の滞在期間中は、比較的天気に恵まれていたようで、週末を利用して、学校で出会った新しい友人と、ゴールウェイやベルファスト、フランスのバリなどたくさんさんの場所を訪れました。授業とは異なり、あらかじめ用意されたトピックで会話をするわけではないので、よりお互いのことを知ることができ、非常に有意義な時間だったと思います。アイルランドの人々は、とても明るく、いつもジョークで笑わせてくれました。話すことが好きな人が多いので、アイルランドは英語学習に最適な場所です。これから語学研修に行くごうと思っている人にもぜひお勧めしたいと思います。

ゴールウェイ近くの観光地「モハーの断崖」で

留学はさらなる成長の一步

国際学部国際学科4年 沖本 優架
私は夏季休業中の4週間、カナダのトロントでホームステイをし、語学学校へ通いました。学校ではレベル別に分かれ、母国語が利用できない教室でgrammar, writing, speakingを学びました。クラスにはさまざまな国の人がありました。基本的な英語の授業はもちろん、授業の中で皆の母国のことを英語で説明し合い、当て合うことでgrammar, speakingを先生が鍛えてくださいました。日本人は文法が得意で会話が苦手な人が多いのですが、他国の人たちはその逆でした。私は驚き、同時に焦りを感じました。そこでステイ先の家族と積極的に話す努力をしました。また飲食店などに行くことでネイティブの人と話す機会も自然と増えました。そして帰る頃にはスムーズに現地の人と話せるまでになりました。日本では機会を自ら作らないと難しいspeakingですが、普段の生活で英語に触れることのできる環境に感動しました。もちろん語学を学んだだけではなく、ボートパーティーに参加したり、ナイアガラの滝やニューヨークに行ったりしました。こうした経験を通じて世界の大きさを感じることができ、もっと海外に赴いてさまざまなことを肌で感じたい、さらに英語を話す機会を増やしたいと思うきっかけにもなりました。このような貴重な機会を留学補助により体験できたことに感謝しています。皆さんもうまく学校の制度を使って、海外に積極的に行ってほしいです。



クラスメートと(左から4人が沖本さん)

学生レポート

この記事は、「キャンパスリポーター」または「学生広報サポーター」に登録している市大生自らが取材をして記事を作成しています。

8月6日、学生目線で 学び考え語る“平和”

国際学部国際学科2年 福島 未菜

原爆が投下された日である8月6日、広島平和記念公園で行われるイベントは平和記念式典だけではない。広島市立大学の平和活動サークルS2は、同日に「碑めぐり&ピースカフェ」を開催する。このイベントはS2の部員たちが、高校生・大学生を対象とした参加者に広島平和記念公園およびその周辺にある慰霊碑を案内し、その後、近郊のカフェで原爆や平和について語り合うといった内容で、昨年は本学の学生15人が参加した。

広島平和記念公園にある慰霊碑としては、「安らかに眠って下さい 過ちは繰返させぬから」と刻まれた原爆死没者慰霊碑(広島平和都市記念碑)が有名だが、そのほかにも多数の慰霊碑がある。慰霊碑には原爆投下当時の様子が分かるものもあり、そこからは慰霊碑に込められた当時の人々の思いが伝わってくる。部員たちは当日の案内のために慰霊碑について事前に勉強する。

碑めぐりをして原爆や平和について学び考えることで、その後のピースカフェでもより深い話をすることができる。S2部長の小野有紗さん(国際学部3年)は、「碑めぐりは広島平和記念資料館だけでは分からない原爆のことや当時の暮らし、背景を考えるきっかけになると思う。ピースカフェではゆったりとした雰囲気の中で意見交換をし、自分にとっての「8月6日」の意味を見つけてほしい」と語る。

部員にとっては自ら学び、それを参加者に伝えること、そして参加者にとっては学生同士で共に語り合うことで、あらためて平和について考えるよい機会となるだろう。なお、S2では、ツイッターアカウント(@Kokunais2)で情報発信を行っている。



ピースカフェで話している様子

🎁 おめでとございます

■情報科学研究科の学生が「学生プレゼンテーション賞」を受賞
2016年2月、情報科学研究科(博士前期課程)知能工学専攻2年の飯沼俊平さんが、「第8回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2016)」(第14回日本データベース学会年次大会)で受賞。

■情報科学研究科の学生が「情報ネットワーク若手研究奨励賞」を受賞
2016年3月、情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻2年の松本博樹さんが、「電子情報通信学会情報ネットワーク研究会」で受賞。

■情報科学研究科の教員らが「日本生体医工学学会論文賞・版本賞」を受賞
2016年4月、情報科学研究科の古川亮准教授、青山正人准教授、日浦慎作教授らが、「第55回日本生体医工学学会大会」で受賞。

■情報科学研究科学生の研究が「カワイサウンド技術・音楽振興財団」の研究助成に採択されました
2016年6月、情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻システム科学系3年(サウンドデザイン研究室)・飯島聡志さんの研究「聴覚フィードバックに着目した歌唱訓練システムの構築」が採択されました。

■情報科学研究科の馬場講師が各種受賞
2016年6月、情報科学研究科の馬場雅志講師が、「VC/GCAD合同シンポジウム2015」においてポスター発表した論文で「ビジュアルコンピュータ賞」を、「第159回グラフィクス&CAD研究発表会」において発表・講演した論文で「優秀研究発表賞」を受賞。

※学年は受賞当時

📰 市大ニュース

■第16回西風新都駅伝大会を開催

2016年3月、本学トライアスロン部が中心となって実施する「第16回西風新都駅伝大会」が、本学校内および周辺で開催されました。今年には56チーム、280選手が参加。大会後は学生たちが豚汁をふるまうなど、地域住民と交流を深めました。

■入学式を挙行了しました

2016年4月、本学講堂大ホールで入学式を挙行了しました。式には学生、保護者、教職員等約900名が出席しました。

■カーブアカデミー・インターンシップ参加報告会を実施

2016年4月、広島東洋カーブ企業インターンシップドミニカ共和国のカーブアカデミーに派遣(2015年9月から約5か月間)された山山佳樹さん(国際学部3年)による参加報告会を開催しました。

■米国総領事館インターンシップ参加報告会を実施

2016年5月、春休みに在日米国総領事館(大阪府)でのインターンシップに参加した原朝葉さん(国際学部4年)と田中玲さん(国際学部3年)が、参加報告会を開催しました。

■本学学生らが「ごみゼロ・クリーンウォーク」に参加

2016年6月、広島市内で「ごみゼロ・クリーンウォーク」が実施されました。本学からは学生436人が参加し、市内各所の出発地点からゴールの旧市民球場跡地まで歩きながら、道端の清掃を行いました。

■学生表彰授賞式を実施

2016年6月、2015年度学長奨励賞を受賞した大庭孝文さん(芸術学研究科博士後期課程2年)の授賞式を行いました。大庭さんは、岐阜県高山市が主催する全国公募の日本画展である2015年度「第26回臥龍桜日本画大賞展」において、最高賞となる大賞を受賞した功績が認められました。

■広島赤十字・原爆病院賞の授賞式を実施

2016年6月、広島赤十字・原爆病院が本学芸術学部・研究科の学生の卒業・修了作品1点に贈る、広島赤十字・原爆病院賞の表彰式が行われました。5回目となる今回の受賞作品には、芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻1年の平野あゆみさんの作品が選ばれました。

■2016年度特待生が決定

2016年度特待生に、学部2～4年生の各年次から、国際学部3名、情報科学部5名、芸術学部2名、計30名の学生が選ばれました。特待生制度では、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生を表彰。副賞として奨学金が贈られます。

■ライブキャンパス2016開催

10月10日(月・祝)に、「ライブキャンパス2016」を開催します。「素顔のいちだい編」と題して、「広島市立大学の授業ってどんな授業だろう」と思っている高校生および保護者を主な対象として、広島市立大学の通常授業を体験してもらいます。お問い合わせ先:広島市立大学事務局企画室入試グループ(電話:082-830-1503 E-mail:nyushi@office.hiroshima-cu.ac.jp)

📅 2016年度 学年暦

後期(10月1日～3月31日)	
10月1日(土)	後期授業開始
10月3日(月)～14日(金)	後期履修手続期間
10月10日(月・体育の日)	休日月曜日の授業実施日・ライブキャンパス2016
11月5日(土)・6日(日)	大学祭
12月1日(木)	防火・防災訓練の日
12月24日(土)～1月3日(火)	冬季休業
1月13日(金)	開学記念日の振替日
2月1日(水)・2日(木)	後期補講日
2月3日(金)～2月16日(木)	後期定期試験
2月17日(金)～3月31日(金)	学年末休業
3月23日(木)	卒業式

📖 この本 ～教員の著書紹介～

広島市立大学 広島平和研究所 / 編
「平和と安全保障を考える事典」 2016年3月、法律文化社

📄 「W.B.」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 企画・広報委員会
○E-mail:kikaku@office.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656
[W.B.(WEST BREEZE)]のバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌[WEST BREEZE]」に掲載しています。

広報誌名

広島市立大学広報誌の表紙タイトル[W.B.]([WEST BREEZE]の略称)は、広島市立大学のある西風新都にちなんで命名されました。編集・発行 / 広島市立大学 企画・広報委員会 発行日 / 2016年8月1日